

Intune 設定配布マニュアル

本書は、Microsoft Intune を通して xSync Classroom の設定を配布する手順書となります。

Intune 設定配布マニュアル

PVCXC-M017-A

本書の内容は改良の為、予告無く変更する場合があります。

目次

概要	2
xSync Classroom での設定.....	2
配布用ファイルの作成	3
Intune 配布用ファイルの作成	4
Intune への適用	4

概要

Microsoft Intune を通じ xSync Classroom に適用するには以下の手順が必要となります。

- 1.xSync Classroom にて配布したい設定を行います。
- 2.設定完了後、「配布設定作成ツール」で配布用のファイル作成を行います。
- 3.配布用のファイルから Intune 配布用のファイルを作成します。
もしくは配布用のファイルを弊社へ提供いただければ、Intune 配布用のファイルを返送いたします。
- 4.Intune 配布用のファイルを Intune に適用します。

本書では上記手順を順に説明いたします。

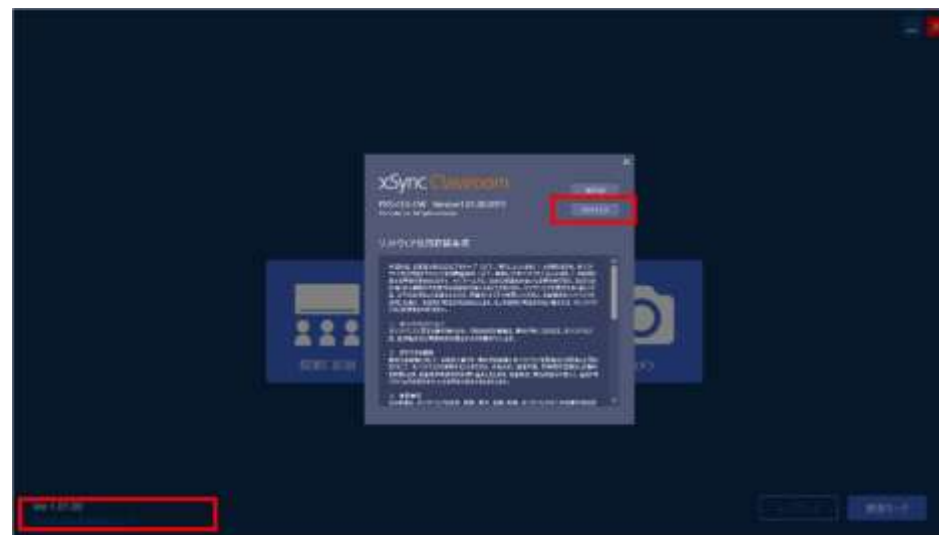
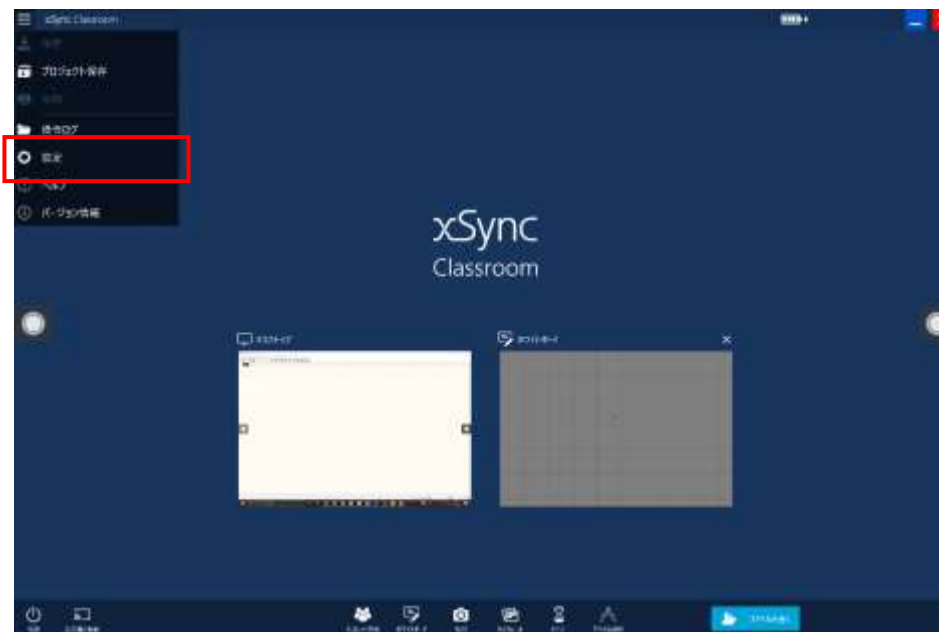
xSync Classroom での設定

1. xSync Classroom をインストールします。
2. インストール後、教員機はライセンスキーを入力し起動を行います。生徒機の場合、ライセンスキーの入力は不要です。

補足

- Intune を使用することで、ライセンスキーの入力まで行った教員機のインストーラ配布、及び生徒機のインストーラ配布が可能です。詳細は「Intune 導入手順書」をご確認ください。

3. 教員機の場合、メニュー→設定より各種設定を行います。生徒機の場合、[xSync Classroom について] → [メンテナンス] →パスワード→設定より各種設定を行います。



配布用ファイルの作成

1. 設定の完了、Classroom を終了しツールを起動します。
ツールは [スタート] → [xSync Classroom] もしくは [xSync Classroom Client] → [Intune 配布設定作成ツール] より起動します。



2. ツールの起動後、配布したい設定のラジオボタンを設定します。
デフォルトは全て [配布する] となります。

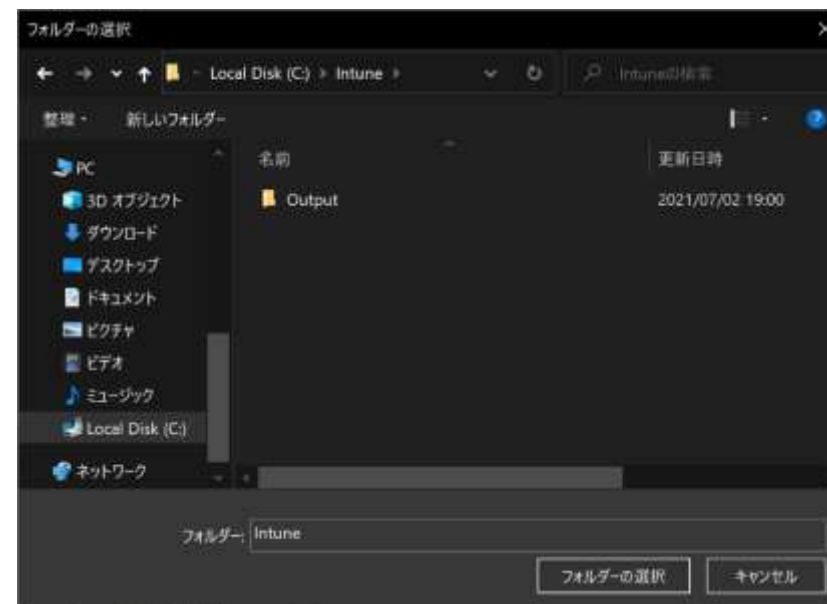
補足

- ホスト(教員機)の各設定は、
 - ①共通設定
→通信ポートやクライアントの更新設定等「管理者設定」で行う端末共有の設定ファイル。
 - ②ユーザー設定
→一般設定やタブレット学習の設定ファイル。
 - ③WebDAV 設定
→クラウドの「WebDAV」を設定した際の実ファイル。
となります。
- クライアント(生徒機)の各設定は、
 - ①共通設定
→ブラウザ設定やネットワーク設定等、端末で共有されるファイル。

②ユーザー設定

→資料箱/手動保存フォルダやログイン名等、ユーザー情報に関わる設定ファイル。
となります。

3. [ホスト設定作成]、[クライアント設定作成]、[ホスト・クライアント設定作成]のいずれかをクリックすると、エクスポート先の選択画面が表示されます。



選択したフォルダに[Host][Client]フォルダが生成されます

名前	更新日時	種類
Host	2021/07/05 16:39	ファイル フォルダ
Client	2021/07/05 16:39	ファイル フォルダ

Intune 配布用ファイルの作成

補足

- 「配布用ファイルの作成」で作成されたファイルを弊社に提供いただくことで、Intune 配布用の作成を行います。
こちらは手動で Intune 配布用のファイルを作成する一例を記載しています。

- 「IntuneWinAppUtil.exe」を PowerShell で起動します。
exe については以下リンクより内容を確認ください。
「Microsoft Intune にアップロードする Win32 アプリを準備する」 - Microsoft Docs
<https://docs.microsoft.com/ja-jp/mem/intune/apps/apps-win32-prepare>
- PowerShell で実行後、以下の指定を行います。
Source Folder…出力した「Host」または「Client」フォルダを指定します。
Setup File…「Host」の場合は”FileCopy_Host.bat”、
「Client」の場合は” FileCopy_Client.bat”を指定します。
Output Folder…任意のフォルダを指定します。
Specify Catalog Folder…N を指定します。

```
PS C:\> .\IntuneWinAppUtil.exe
Please specify the source folder: C:\Output\Host
Please specify the setup file: FileCopy_Host.bat
Please specify the output folder: C:\Intune
Do you want to specify catalog folder (Y/N)?N
```

Output で出力したフォルダに”FileCopy_Host.intunewin”
 (“FileCopy_Client.intunewin”)が出力されます。

Intune への適用

- 出力された intunewin ファイルを Intune に登録します。
アプリ情報は任意のものを入力します。

アプリ情報 | プログラム | 必要条件 | 検出規則 | 依存関係 | 置き換え (プレビュー) | 割り当

ファイルの選択 * FileCopy_Host.intunewin

名前 * FileCopy_Host.bat

説明 * FileCopy_Host.bat

説明を編集します

実行元 * elmo

- プログラムのインストールコマンド、アンインストールコマンドにはバッチの名前を入力します。
インストールの処理は「ユーザー」を選択します。

アプリをインストール/アンインストールするコマンドを指定します:

インストールコマンド * FileCopy_Host.bat

アンインストールコマンド * FileCopy_Host.bat

インストールの処理 * システム ユーザー

- 必要条件は任意のものを入力し、次に進みます。

4. 検出規則には任意のものを入力してください。
バッチファイルでは以下のフォルダにファイルを生成します。
Host は、
“%APPDATA%\PioneerVC\xSync Classroom\Host\Intune\63e9fc15-e8d8-4811-9902-4137c73dafa7
Client は、
"%APPDATA%\PioneerVC\xSync Classroom\Client\Intune\1b6a6bd9-6339-429c-b71b-8dfe195cce99"
一例として Intune での配布を受けたことのない端末を検出する規則となります。
5. 依存関係、置き換えには任意のものを入力してください。
6. 割り当てを行い、登録を行います。
以上で設定は完了です。

検出規則



このアプリのプレゼンスを示す規則を作成します。

規則の種類 * ①	ファイル
パス * ①	%APPDATA%\PioneerVC\xSync Classroom\Host
ファイルまたはフォルダー * ①	Intune
検出方法 * ①	ファイルまたはフォルダーが存在する
64 ビット クライアント上で 32 ビット アプリに関連付ける ①	<input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ